

令和元年度 豊明市高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会 議事録

日時:令和2年1月28日(火)午後1時半～3時

場所:豊明市役所本館4階 第3委員会室

[出席委員]15名 [欠席委員]3名 [事務局]健康長寿課、社会福祉課

1 あいさつ

2 議題及び議事概要

下記議題1～3について事務局より資料に沿って説明の後、意見交換を実施。

○議題1 障がい者虐待に関する現状と課題について [資料1]

○議題2 高齢者虐待に関する現状と課題について [資料2]

障がい者虐待について及び高齢者虐待について各担当から報告。

○議題3 虐待事例から見える関係機関の連携と課題について [資料3]

障がい者虐待事例及び高齢者虐待事例を担当から報告。

○議題1及び2

[意見及び質疑応答]

(委員)資料に計上されている件数について、障がい者虐待と高齢者虐待とで異なるので統一を。(障がい者虐待は相談件数、高齢者虐待は認定件数)

高齢者虐待件数が増えている。高齢者の増加に伴う等要因が考えられるが、経年的に見ていく必要あり。

(委員)同一被虐待者の多年度に渡る通報はないか。虐待対応後の継続的支援について伺いたい。

(事務局)高齢者については地域包括支援センターと連携し継続的に支援している。また、警察からの通報により分離調整中のケースで、年度内に再度通報があったケースもある。そのケースは緊急的に分離した。

障がい者も継続して関わっているケースがある。虐待者との分離が難しく支援が困難であるケースもある。虐待なのか不適切な介護なのか利用している施設で見守り強化を実施。

(委員)高齢者虐待者の続柄の内訳の詳細と、被虐待者の「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の方の人数を伺いたい。

(事務局)それぞれ回答。

○議題3

[意見等]※複数の委員からの意見等を一部集約して記述する。

(委員)障がい者の実態把握と取り組みについて

・障がい者の実態把握方法について伺いたい。

・サービス未利用の方は、社会的に孤立しがち。それらに対する対策はあるか。

・8050問題に含まれる虐待等、潜在的なところに対する取り組みの方向性について伺いたい。ひきこもり者の数は多いのではないか。

(事務局)障がい者の中でサービス未利用、支援者に繋がっていない方2,000人のうち、40歳代以上で区分が重度の方70人程を対象にアンケート調査を実施。制度の周知も兼ねており、回答に応じて直接アプローチを行うことも予定している。また、アンケート調査により、「閉鎖的なケースに対するアセスメント」や、「孤立している家庭を減らす」といった効果があり、それらが虐待の予防、早期発見につながると考えている。

国の統計に当てはめると、豊明市のひきこもり者は約600人と推測される。うち重度引きこもりは約300人。関係機関と連携を図りながら予防的視点をもちながら、早期対応につなげていきたい。

(委員)連携支援について、今後どのように考えるか。

(委員)チームとしてのアプローチが重要であると考えている。チーム内で他の所属機関の支援を知り経験することで、ケースにとってより適切な支援を導いていくことができると考える。

(委員)高齢者虐待事例で警察から被虐待者の避難先の準備を要請された際、要介護認定を受けていないケースの避難先はどこになるか。

(事務局)年度委託契約している特別養護老人ホームや老人保健施設の他、シェルター等を想定している。

(委員)子が成年を迎え親子の力関係が逆転して起こる虐待ケースの場合、親子を分離したものの、親が子どもの元へ戻ることも想定される。分離後の後追いについて、どのような対応策を考えているか。

(事務局)SOSの発信ができる場合やキーパーソンが存在が確認できる場合等とそうでない場合とで対応が異なる。ケースバイケースで対症療法が多く、今後の課題になってくると考える。